

# 開会の辞

日本語教育センターシンポジウム 2022

## 社会・コミュニティを変える力とは？

—21世紀の日本をけん引する立教型グローバル  
人材育成を日本語教育の視点から考える—



日本語教育センター  
副センター長、文学部教授  
石川 巧

○鹿目 皆様、本日はお忙しい中、立教大学日本語教育センターシンポジウム2022に御参加いただきまして、誠にありがとうございます。本日の司会進行役を務めさせていただきます、日本語教育センター員の鹿目葉子と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

本シンポジウムは、教室内に設置されておりカメラ並びにZoomの録画機能を使いまして記録させていただきます。後日、本シンポジウムの内容をまとめました冊子を作成する際と、本センターの広報に使用させていただきます。ご了承の上、ご参加並びにご視聴いただけますようお願いいたします。

はじめに開会の辞を頂戴いたします。立教大学日本語教育センター副センター長、文学部教授の石川巧先生、よろしくお願いいたします。

○石川 ただいまご紹介いただきました文学部の石川です。今年度より日本語教育センター副所長を務めております。私は、本日のため事前に挨拶文を考えていたのですが、昨日の出来事（ロシア軍によるウクライナ侵攻）を踏まえて全文を書き直して参りました。以下、読ませていただきます。一この間、世界は新型コロナウイルスの感染拡大、ロシアによるウクライナ侵攻に揺れ、国際社会において対話による合意形成を図っていくこと自体がとても困難な状況に陥っていると思います。また昨日は、安倍元首相が凶弾に倒れるという衝撃的な事件が起こるなど、自分とは違う主義主張をする他者に対する寛容さが急速に失われつつあります。多様な価値観を許容し、それぞれの違いを認め合うことこそが社会を豊かにしていくという前提そのものが崩れつつあります。

こうした困難な時代にあって、私たちが留学生の皆さんから学ぶべきことはた



日本語教育センター教育講師  
日本語教育センター員

## 鹿目葉子

くさんあると思います。国家、民族、言語の壁を超えて交流するとはどういうことなのか。それぞれの歴史や文化を尊重しながら、お互いを成長させていくためには何が必要なのかを考える契機を得ることができます。留学生が身近にいることで、私たちは様々な刺激を受け、知的好奇心を育てていくだけではなく、自分の凝り固まった認識を揺さぶり、広い視野を獲得していくことができると思います。

本日のテーマは、「21世紀の日本をけん引する立教型グローバル人材育成を日本語教育の視点から考える」ということになっていますが、グローバルであることの第一歩は、異質なものへの寛容さであり、自分をニュートラルに保ち続ける力だと思います。本日のシンポジウムでは、登壇者の皆さんから、率直な意見を聞かせていただけたと思います。皆さんの意見交換を通して、日本語教育センターに新たな創意と工夫が生まれ、立教大学がより素晴らしい探求の場になることを期待しています。

以上、僭越ではありますが、開会の挨拶とさせていただきます。

○鹿目 石川先生、ありがとうございました。

それでは、本日の資料の配布についてご説明します。配布資料ですが、ご来場の皆様には会場の入り口で資料をお渡ししております。オンラインでのご参加の皆様には Google ドライブを使ってお渡しします。ただいまから Zoom のチャット欄でダウンロード用の URL をお知らせいたしますので、そちらからダウンロードをなさってください。

それでは、本日の流れをご説明します。本日のシンポジウムのテーマは、「社会・コミュニティを変える力とは? —21世紀の日本をけん引する立教型グローバル人材育成を日本語教育の視点から考える—」です。第1部では2名の方にご講演と、4名の方でパネルディスカッションを行っていただきます。ご講演は国際化推進機構長、法学部教授、松井秀征先生。パネルディスカッションでは、パネルコーディネーターとして、株式会社 Sociarise 代表、中村拓海様。パネリストとして、本学卒業生、さくら日本語学校教師、益本佳奈さん。立教大学社会学部現代文化学科4年、中内美沙さん。立教大学異文化コミュニケーション学部

3年、小西佐和子さんです。そして休憩を挟みまして、異文化コミュニケーション学部教授、日本語教育センター長の池田伸子先生にご講演いただきます。その後、第2部では、ご講演を基に全体討論を行います。

なお、ご講演の後、質問の時間を短く取る予定であります。ここでは事実確認程度のご質問をお受けしたいと思います。また、全体討議の時間を取っておりますので、その時間にまとめてご質問をいただいても結構です。

では、第1部にまいります。まずは、本シンポジウムのコーディネーターであり、異文化コミュニケーション学部教授、日本語教育センター員でいらっしゃいます丸山千歌先生に、本シンポジウムの趣旨をご説明いただきます。タイトルは、「キャンパスの国際化に貢献する日本語教育センターの取組」です。丸山先生、どうぞよろしく願いいたします。